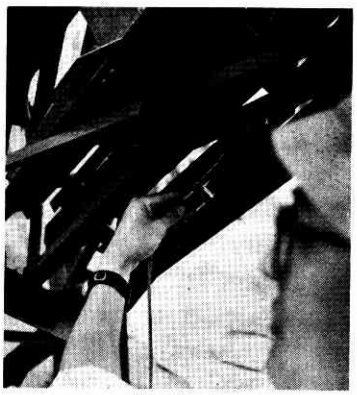
しまうため，Video 出力がつぶれて信号弁別器の動作が不良となり，雑音を発生するのであって，これで受信記録に現われる雑音の原因が説明された．

試翔実験の際，ロケットがランチャ内に静止している時受信した周波数と，飛翔中のそれとの差が小さかったのは，偶々ランチャにロケットの装塡された位置が，好都合（すなわち，アンテナと鉄骨枠の結合があまり密でない位置）であったことによるものであった．

3) パワー・モニター　ランチャ内にあるロケットから電波が輻射され，正常な動作の監視が可能であったことは前記の通りであったが，この場合は，受信点までの距離も近いため，RF出力がたとえ小さくても，そのまま見過ごされる恐れがある．これを検するため，ランチャ下方に，アンテナと適当に結合させて小ループを置き，鉱石検波器（IN 23A）で整流し，その出力電力を受信所で監視しうるようにした．正常動作の時，100 μA 電流計がほぼ Full Scale まで振れるように設定し，その振れからRF出力の目安をうる仕組であった．鉱石設置の状況は第 10 図に示す通りである．



第 10 図

(1955. 12. 24)

ミシシッピ河の水先案内

——ベビーT時の思出話——

▼ベビーT実験の総指揮に当った高木教授は，体重 20 貫を超える肥体とその悠容たる構えで，すこぶる安定感がある．さる記者と思われる人が西郷さんの風格ですね．といったのは，いいあてた言葉だと思った．強い西風が砂じんをとばしている砂浜をのっしのっしと歩く時は，重量感が頼もしく見える．先年生研運動会の催し物で各部競演の仮装行列が行われた時，高木教授は，短い紺がすりの着物に兵児帯をしめて，西郷さんとして登場したことがあった．西郷さんは衆目の一致するところ．

▼男心と秋の空という言葉があるが，実験は，9月17日から1週間の間に行われたので，文字通り変りやすい秋の空になやんだものである．道川は，土崎港から象潟辺まで南北に真直ぐな海岸線のほぼ中間で，日本海の雲や風をさえぎる何物もない．だから1日の内でも瞬時にして晴曇雨風急変して天候が定まらないことがあった．この間にあって1日準備，1日飛翔という慎重な構えで実験を遂行したのだから，男心の方は自若たるものがあったか．男心のついでに銘記しておきたいことは，道川の人々が純心素ぼくなよい人ばかりで，われわれの事業に対する理解と協力にすぐれ，馴れない現地で大へんやりよかったことである．観測ロケットを理解しようという現地の熱意は，諸所方々で糸川教授が講演を求められたことでも分る．ともかく基地拡張問題がさわがれていた世間に比べ，われわれは幸福だったし，またわれわれの実験が刺激になってこの地から科学を志す人が多くなることはありうるかもしれない，とこれは幕舎で語り合った思い出の一節．

▼T実験に参加した明星電気研究所の倉茂周芳君は，東大第二工学部出身で高木教授とは師弟の関係にある．同君が高木教授の夕食に招ばれた時，せがまれてこんな話を述懐した．T1号機飛翔を明日に控えたその日，自分の宿舎である曙荘の実験員の誰彼を前にして，もしわれらの不覚で，実験が失敗したら，高木教授の前に両手をついて，こういって詫びるのだという話をした．その話というのは，ミシシッピ河のある渡船業者が有能な水先案内を募集した時，幾人かの応募者があったが，第一の応募者は，主人の質問に答えて，自分は長年ミシシッピ河で船を操ってきたが，まだ一度も失敗したことがないから，ぜひ自分を雇ってくれと強調した．第二の応募者が，罷り出ていうには，儂も，この齢までミシシッピ河の船頭をやってきただが，いやもう数えきれねえほどしっぺえをやり，何度も命拾いしてきましただ．そんでミシシッピ河についちゃあどこに浅瀬があり，どのへんが難所だちゆうことは，たいてい知っとるつもりどす．この主人はわが膝を打って，お前は一番信頼できる水先案内だ，わたしの求めていたのはお前だといって採用した．この逸話は倉茂君の人事を尽くして天命を待つの精神と実験心理をよく洞察してこれをリードした名人芸と観じて書き留めておく．

▼テレメータ受信室のテープレコーダは4種の電波を1本にキャッチして細い高い雅楽の調べのひとふしのような快よい響きを蔵している．T3号機の時このテープレコーダが止まって記録の再生は望めず．たった1枚，インク直記した記録紙が残されたが，これを見ながら，貴重だよ，35 万円するんだは正に実感．

▼誰が始めるとなく道川海岸の砂浜で石の採集が一部の人達にひろまった．石を拾うのはホームシックでなく，単調な砂丘の上に見出した小さな慰めである．風浪と風砂に角がとれ，石相を露わにした石は多く水成岩で小粒であるが縁あって拾われた石は，今生研の机の上や実験台のわきに飾り物になっている．これはマチス張りですよといって野村助教授が拾われた石は，クリーム色の滑らかな表面に火星の運河図をえがいたように，海藻様のものが細い不規則線に象眼された美的なものである．

▼実験に大事なのは，皆の睡眠だろうといったら，沢井教授が早速現場宿舎を偵察してきて，さにあらず脂肪分補給だということになった．ある日休日の秋田市内川ばた通りに生研の白いテントをつけた輸送車が停車しているのを見届けてきたのは沢井教授で，よろしく補給しているのだという情報だった．高木教授から京大の前田憲一教授にTの実験はぜひ来て見てもらいたい，22，23日は星合所長も秋田に来ている筈だから，そのことも書きそえて打電するようにとのことで電報局へいって頼信紙に向かったが，よい電文が出てこない．かたわらで沢井教授が「22ヒ23ヒホシアイアキタニアリゼ　ヒコラレタシ」は名文であろう．

(J. S)